

八月十五日の迎え方

だから十年間無断であつたと種々論ずる人がある。しかし、そう云ふことはあたふたにせよ、おぼしめされたい。この間に、われわれは、わづかといつて切ないところ、更に進むことだけである。この十年間、われわれは何をき、何を求めたのかを尋ねて見れば、それは疑問にある。きかぬきぬの、これにはない。ジュネーブでの原爆会議、被て行なわれている原力会議、日共の原爆三講部もあつて、

明治憲法復原論も飛び出す

[illegible]

氏が発会式に名を連ねている。日本

著しく低いのであるが、運動はもと
ろん国民運動としての異州を明
を廢止する。日本は國家の紛争解

前掲に記述の如く、改正論は自・民両党をその旗頭として

新聞報道の通りである。第二には
各自の研究を新聞雑誌・講演等を
例二(昭和三五年八月一日ワシ

憲法調査会法案は、第三特別
以つて組織する。この調査会

織する。この調査会は内務省の所管であるが、寺田の諸閣を要請して、日本の専断を容れず、現憲法規定に應答の方針にはアメリカの考え方が朝鮮動乱を巨匠の悔し難い挫折を全然否定したものとは絶対に解釈できない。

中央青少年問題協議会

問題協議会

の資料が本会によせられたのでここにその

(三) 文部省(社会教育局)

文部省は有害な出版物、映画等を青少年から排除する国策を重点的に扱う。

三、対策「関係業者の自衛の方

関係民間団体との連絡協議の運営に指導助言を与える。

出版物、映画等関係業界と連絡会を開催する。

中央児童福祉審議会の行う勧告等
児童福祉審議会、都道府県におい
ては、中央児童福祉審議会及び

問 題 協 議 会

たするため、協議会だより、雑誌「青少年問題」等を利用し、つとめる。

(三) 文部省(社会教育局)
(本文略)

るために連絡会を適宜開催する
教育関係者、警察等の積極的な
協力及び協力をお願いする。

業者団体（例えば映画倫理規程管

(3) 青少年保護育成に関する条

を援助するようつとめる。

啓蒙宣傳を中央に準じて講ずる

合、興業組合、紙芝居業組合等）と協力し、その自衛活動を

自主的審査の結果について、その周知徹底方に協力する。

四 対策一特別の立法措置等について」に関して

提携して、青少年に有害な出版
 社関係団体と随時連絡をとり、

必要の事項について後とも調査研究する。

都道府県教育委員会に対し、運動に協力する。

(7) 児童委員に対して維持之功

玩具菓子等の製造販売について食
品衛生監視員をして十分な指導監

教育関係団体に対し上記の趣旨 (六) 警察庁

取組に突じて積極的に協力させる。

講座、社会学級講座、PTA講
二、対策「優良な出版物、映画等

ては、從來通り取締る。

（一）中央青少年問題協議會
社會黨その他社會教育行政関係指導者の參加する各種研究会、民間団体が行う青少年向出版物、

縮令等の一部を改正する法律」
(昭三〇、法律第八十五号)に

1



広島市原爆犠牲者慰霊碑を訪れた国際セミナー参加A班の一行

ツルハシの音に祈る —国際セミナーに参加して—

WU(国際セミナー)は東京第一の国際大学として知られているが、各国の学生も、日本代表の一人として参加している。常任幹事から、今回の国際セミナーを通じて、平和の道を、文に託すまで、この国際セミナーの意義は、



農家の台所

土間と床上の合理化が必要
カマドの改造だけではない

「新生活運動」とは、どんなことをすることなのだろうか？ ムスカシ理論は又、例えは台所の改良などは、この運動の趣旨にそぐうのではありませんか？ 今回、特に本会常任幹事水谷地方対策部長が農家の台所改善に力を入れているので、その成果の一部を発表してみよう。

農作米価統制

食糧制度を再検討せよ
水谷

食糧制度とは、食料の供給と分配の仕組みを指す。戦後、食糧の不足が深刻化し、政府は食糧統制法を制定し、米の生産と流通を厳格に管理した。この制度は、国民の食生活に大きな影響を与えた。

「国際セミナー」は、戦後の国際情勢を背景に、平和と発展の道を模索する場として開催された。参加者たちは、各国の文化と思想を交流し、国際社会の平和構築に貢献することを誓った。

農家の台所は、日本の食文化の根幹を成す重要な空間である。その改善は、国民の生活の質を向上させるだけでなく、農村地域の発展にも大きく貢献する。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

「国際セミナー」は、戦後の国際情勢を背景に、平和と発展の道を模索する場として開催された。参加者たちは、各国の文化と思想を交流し、国際社会の平和構築に貢献することを誓った。

農家の台所は、日本の食文化の根幹を成す重要な空間である。その改善は、国民の生活の質を向上させるだけでなく、農村地域の発展にも大きく貢献する。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

「国際セミナー」は、戦後の国際情勢を背景に、平和と発展の道を模索する場として開催された。参加者たちは、各国の文化と思想を交流し、国際社会の平和構築に貢献することを誓った。

農家の台所は、日本の食文化の根幹を成す重要な空間である。その改善は、国民の生活の質を向上させるだけでなく、農村地域の発展にも大きく貢献する。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

「国際セミナー」は、戦後の国際情勢を背景に、平和と発展の道を模索する場として開催された。参加者たちは、各国の文化と思想を交流し、国際社会の平和構築に貢献することを誓った。

農家の台所は、日本の食文化の根幹を成す重要な空間である。その改善は、国民の生活の質を向上させるだけでなく、農村地域の発展にも大きく貢献する。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

食糧制度の再検討は、戦後の日本社会が直面した重要な課題の一つであった。政府と国民の協力による改革は、食糧の安定供給と公平な分配を実現した。

水谷氏は、食糧問題の重要性を強調し、政府に対してさらなる政策の改善を求めた。その主張は、当時の社会情勢を反映しており、国民の関心を集めた。

農作米価統制は、戦時体制下で実施された重要な政策であった。これは、戦力の増強と国民生活の安定を目的として、米の価格を厳格にコントロールした。

- #### 友愛文化部案内
- A 研究会サークル
研究会サークルは、本会の発展と活動の促進を図るため、様々な分野で研究会を設置している。これらは、学術的・文化的・社会的な交流の場として機能している。
 - B リクリエーションサークル
リクリエーションサークルは、メンバーの健康増進と余暇の充実に貢献している。様々なスポーツや娯楽活動を通じて、仲間との絆を深めている。
 - C 農業問題研究会
農業問題研究会は、戦後の農業政策と農村の発展について研究している。最新の農業技術と政策動向を把握し、実践的な提言を行っている。
 - D 山友会
山友会は、自然環境の保全と登山活動の普及を目的としている。定期的な登山活動を通じて、自然との親近感を高め、環境意識を醸成している。
 - E 合唱団
合唱団は、音楽を通じた文化交流と団結を促進している。定期的な練習と公演活動を通じて、メンバーの歌唱力を高め、地域社会への貢献を行っている。
 - F 俳句会
俳句会は、俳句の創作と鑑賞を通じて、文学的素養を高めることを目指している。定期的な集まりと発表会を開催し、メンバーの創作意欲を刺激している。
 - G 文芸部
文芸部は、小説・詩・エッセイなどの創作活動を通じて、表現力を磨き、文芸界への 진출を目指している。定期的な作品発表と批評会を開催している。
 - H 井論部
井論部は、時事問題や社会問題について、活発な議論と意見を交わしている。定期的な座談会やパネルディスカッションを開催し、メンバーの論議力を鍛えている。
 - I、スキー部
スキー部は、スキー技術の向上と冬のレジャー活動を楽しむことを目的としている。定期的なスキー活動と講習会を開催し、メンバーのスキースキルを向上させている。
 - J 申込方法
申込方法は、本会のウェブサイトや各研究会の案内書に記載されている。詳細な情報は、各研究会の代表者に問い合わせることで得ることができる。

友愛青年同志会文化部
友愛青年同志会文化部は、本会の文化活動の中心として機能している。様々な研究会とサークルを擁護し、メンバーの多様なニーズに応えるよう努めている。

